

引き続き『感染症エクスプレス@厚労省』をご活用ください。

トピックス

◆新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症について、4月2日時点で国内感染者は2,556名（患者1,819名、無症状病原体保有者245名、陽性確定例（症状有無確認中）492名）となります。これに加え、これまでに空港検疫で患者19名、無症状病原体保有者42名が確認されており、合計すると2,617名となります。また、国内死亡者は63名となります。

感染管理に関しては、下記国立感染症研究所等が発表しているマニュアルをご覧ください。

○新型コロナウイルス感染症に対する感染管理(2020年3月19日改訂版)（国立感染症研究所 感染症疫学センター・国立国際医療研究センター 国際感染症センター）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/2019nCoV-01-200319.pdf>

「1）上気道の検体採取を実施する場合（鼻咽頭ぬぐい液採取等）」と「4 関係者が感染者であった際の対応について」を追加しました。

○新型コロナウイルス（2019-nCoV）関連情報について（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

また4月2日付で、

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における新型コロナウイルス感染症患者の退院及び就業制限の取扱いについて（一部改正）」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000618523.pdf>

「新型コロナウイルス感染症の軽症者等に係る宿泊療養及び自宅療養の対象並びに自治体における対応に向けた準備について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000618525.pdf>

「「新型コロナウイルス感染症の軽症者等の宿泊療養マニュアル」の送付について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000618526.pdf>

「新型コロナウイルス感染症患者が自宅療養を行う場合の患者へのフォローアップ及び自宅療養時の感染管理対策について」

<https://www.mhlw.go.jp/content/000618528.pdf>

を発出しました。軽症者等の宿泊療養や自宅療養についてまとめております。上記通知や参考資料は全て

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00088.html

でご覧いただけます。是非ご参考ください。

■医療機関向け情報（治療ガイドライン、臨床研究など）■

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00111.html

新型コロナウイルス感染症に関する医療機関向け情報（治療ガイドライン、臨床研究など）を掲載しています。

ぜひご覧ください。

また3月17日付で、「一類感染症等の患者発生時に備えた臨床的対応に関する研究」（令和元年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業）において、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き・第1版」が作成されましたので、是非ご活用ください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/000609467.pdf>

厚生労働省では新型コロナウイルス感染症特設ページを作成しておりますので、こちらにて最新情報をご確認いただけます。

<新型コロナウイルス感染症について>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

上記特設ページでは、医療機関の方向けの情報その他、国内の発生状況、政府の対策について、働く方や経営者の方向け情報、学校の臨時休業に関する説明など、幅広く項目を設けております。ぜひご活用ください。

<関連情報>

○新型コロナウイルス（2019-nCoV）関連情報について（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

○新型コロナウイルス感染症の現状の評価と 国内のサーベイランス、医療体制整備について（2020年2月7日時点）（国立感染症研究所）

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/corona/2019nCoV-04-200207.pdf>

○感染症発生動向調査及び積極的疫学調査により報告された新型コロナウイルス感染症確定症例112例の記述疫学（2020年2月24日現在）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/covid-19/9440-covid14-14.html>

<厚生労働省英語版ページ>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage_00032.html

<厚生労働省中国語版ページ>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/newpage_09534.html

東京ガールズコレクション出演モデルによる新型コロナウイルス感染症予防の啓発メッセージ動画「Let's take action! 新型コロナウイルス感染症予防のためにわたしたちができること」を公開しています

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_10613.html

現在の状況と厚生労働省の対応については、毎日正午までの各国機関やWHO等から発表された内容を踏まえ、プレスリリースとして発表しております（休日は現在の状況をデータとしてリリースしております）。

厚生労働省が把握している情報と現在の対応など、プレスリリース一覧は下記にございます。

<報道発表一覧（発生状況、国内の患者発生、海外の状況、その他）>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00086.html

<報道発表一覧（チャーター便、クルーズ船関連）>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00108.html

国民の皆様におかれては、風邪や季節性インフルエンザ対策と同様にお一人お一人の咳エチケットや手洗いなどの実施がとても重要です。感染症対策に努めていただくようお願いいたします。

次の症状がある方は「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

- ・風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている。（解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます）
- ・強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある。

※ 高齢者や基礎疾患等のある方は、上の状態が2日程度続く場合

センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

【相談後、医療機関にかかる時のお願い】

○帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することはお控えください。

○医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット（咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる）の徹底をお願いします。

◆風しんの報告が続いています

2018年は、12月30日までに2,917例の届出があり、そのうち、2,857例は7月23日以降の報告でした。

2019年は、12月29日までに2,306例の報告があります。患者の多くは、昨年同様30～50代の男性で、都市圏を中心に報告されています。2020年は3月22日までに73例の報告があります。

厚生労働省は、今般の風しんの発生状況を踏まえ、厚生科学審議会感染症部会及び予防接種基本方針部会での議論に基づき、これまで風しんの定期接種をうける機会がなかった1962年（昭和37年）4月2日から1979年（昭和54年）4月1日までの間に生まれた男性に対して、抗体検査を前置した上で、予防接種法に基づいた風しんの第5期の定期接種を行っております。

対象となる男性は、2022年3月末までの間、市区町村により送付されるクーポン券を使用すれば、無料で抗体検査及び原則無料で定期接種を受けられるようになります。クーポン券は市区町村から順次送付しております。まだクーポン券が送付されない対象者も、市区町村に希望すればクーポン券を発行し、抗体検査を受けられます。なお、自治体により事業の開始時期や対応が異なるため、お住まいの市区町村にお問い合わせください。

また、YouTubeにて動画【止めるぞ 風しん ～おじさま世代の皆様へ～】を公開しております。風しんの患者が急増する中、40代、50代の皆さま、その他の皆さまも、すぐ検査に行っていただきたい思いを動画にし、公開いたしました。

風しんはなぜ怖いのか？クーポン券とは？どうやって使うのか？など、わかりやすく動画にて説明しております。ぜひ皆様の視聴および周りの方への視聴のお勧めをお願いいたします。

<動画はこちら> (YouTubeへリンク)

<https://www.youtube.com/watch?v=IUQZN1J4zI4>

<風しんの追加的対策特設ページ>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html

■啓発資料■

<ポスター（A2サイズ）>

https://www.mhlw.go.jp/content/A2_final.pdf

<リーフレット（A4 サイズ）>

<https://www.mhlw.go.jp/content/000617770.pdf>

ポスター・リーフレットの画像を加工・編集してのご使用は固くお断り申し上げます。

<クーポン券の使用可否のお知らせポスター>

<https://www.mhlw.go.jp/content/000537268.pdf>

<名刺サイズの案内用紙>

<https://www.mhlw.go.jp/content/000537274.pdf>

<クーポン券の使用上の注意>

<https://www.mhlw.go.jp/content/000537276.pdf>

今回の追加的対策の円滑な実施にむけて、引き続き検討を進めてまいります。

<風しんについて>

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

<風疹 発生動向調査 2020 年第 12 週（'20/3/25 現在）>

<https://www.niid.go.jp/niid//images/idsc/disease/rubella/2020pdf/rube20-12.pdf>

【リーフレット】

<体調不良の時はムリしないで>

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/dl/poster15.pdf

<妊娠を希望する女性、妊婦とご家族へ>

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/dl/poster14.pdf

<職場は風しん予防対策をしていますか>

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/dl/poster13.pdf

【政府広報オンライン】

昭和 37 年度～53 年度生まれの男性の皆さんへ 風しんの予防接種にご協力ください！

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201406/3.html>

【政府インターネットテレビ】（動画）

<昭和 37～53 年度生まれの男性の方へ ～生まれてくる赤ちゃんを守る“風しん対策”>

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg19934.html>

<ピックアップ！～赤ちゃんを守る！～男性も風しん対策を>

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg20050.html>

◆インフルエンザの発生状況を公表しました（2020年4月3日）

全国の定点医療機関当たり報告数は 0.27

2020年第13週(3月23日～3月29日)のデータを公表しました。

全国の定点医療機関当たり報告数は 0.27 となり、前週の 0.54 よりも減少しました。

<インフルエンザに関する報道発表資料>

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou.html

◆RSウイルス感染症の流行が続いています

2019年8月より、RSウイルス感染症の報告数が増加しており、現在も流行が続いています。

RSウイルスは子どもと大人のどちらにも感染することがあり、症状は風邪のような軽い症状から、呼吸困難などの重い症状を起こすことまで様々です。特に、新生児や6ヶ月以内の乳児、先天性心疾患や肺の基礎疾患があるお子さんに感染すると、時に肺炎や細気管支炎など、重篤な病態を引き起こすことがあり、注意が必要です。

感染経路は患者の咳やくしゃみなどによる飛沫感染と、ウイルスが付着した手指などを介した接触感染が主です。感染対策として、マスクを着用することや咳エチケット、手洗いなどの対策を徹底することが大切です。

<RSウイルス感染症>

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-05-15.html>

◆フィリピンでポリオ（急性灰白髄炎）が発生しています

2019年9月に、フィリピンにおいて、ポリオ（急性灰白髄炎）の発生が報告されました。フィリピンでの症例は野生株ではなく、ワクチン由来ポリオウイルス（VDPV）によるものですが、急性弛緩性麻痺の症状のある患者さんを観た際は、フィリピンなど、ポリオ流行国への渡航歴を聞いた上で、ポリオの検査をご検討ください。必要に応じて、ポリオや急性弛緩性麻痺の届出の徹底もお願いします。

なお、フィリピンを含め、ポリオが発生している国に4週間以上の長期滞在を予定している方は、渡航前の追加接種が世界保健機関より推奨されています。特に、1975年から1977年生まれの方はポリオに対する免疫が低いことが分かっており、この世代の方に対しては追加接種が強く推奨されます。

また、定期接種（四種混合）を終えてない方や、これまでに一度もポリオの予防接種を受けたことがない方は、長期滞在しない場合であっても、渡航前に予防接種を受けて頂くことが推奨されます。

◆コンゴ民主共和国でエボラ出血熱が発生しています

厚生労働省では、検疫や国内での対応強化のため注意喚起を行っています。エボラ出血熱の流行地域であるコンゴ民主共和国（北キブ州及びイツリ州）から帰国された方は、検疫官に申告するようにしてください。

2018年8月1日（現地時間）、世界保健機関（WHO）及びコンゴ民主共和国（旧ザイール）保健省は、同国北東部の北キブ州において、エボラ出血熱が発生したことを発表しました。2020年3月30日までに、北キブ州・イツリ州・南キブ州の3州において、2,264名の死亡例を含む、3,453例の患者（確定3,310例、疑い143例）が報告されています。また、2018年8月8日から高リスク群に対してのワクチン接種が始まりました。

2019年6月11日（現地時間）、WHO及びウガンダ共和国保健省は、同国西部のカセセ県において、エボラ出血熱患者が確認されたことを発表しました。2019年8月30日までに、3例の死亡例が報告されています。これらの患者

は、コンゴ民主共和国からの入国者の発症例で、患者への接触者については追跡できているとのこと。

2019年7月14日（現地時間）、北キブ州の州都ゴマにおいて、エボラ出血熱患者が確認されました。2019年7月17日、今回のエボラ出血熱の流行に関する緊急委員会がWHOで開催され、「国際的に懸念される公衆衛生上の危機（PHEIC）」に該当するとの見解が示されています。2019年10月17日に緊急委員会が開催され、PHEIC継続の見解が示されています。2020年2月12日に緊急委員会が開催され、PHEIC継続の見解が示されています。

2019年8月16日、コンゴ民主共和国の保健省及びWHOは、南キブ州でのエボラ出血熱の発生を確認したと発表しました。

今回の発生地域では、2019年4月18日の武装勢力による病院襲撃によりWHO職員に死傷者が出るなど、反政府勢力による非人道的行為が行われており、以前より外務省から退避勧告が出されています。

◆日本医療研究開発機構（AMED） 平成31年（令和元年）度 「新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業」に係る公募（2次公募）について

日本医療研究開発機構（AMED）は、本公募において、新型コロナウイルス感染症の流行により顕在化された、創薬等研究開発における科学的・技術的課題、および研究開発に係る新たなアプローチの必要性などを踏まえ、新型コロナウイルス感染症等新興感染症の創薬等研究開発に求められる新たな技術基盤のシーズを求めます。既存の感染症研究にとらわれず、特に、異分野からの技術移転や多分野融合による革新的な着想やアプローチに基づく提案を大いに求めます。

応募方法や日程など、公募内容の詳細は以下のURLからご確認ください。

https://www.amed.go.jp/koubo/01/06/0106B_00020.html

感染症発生情報

■国内の感染症発生状況

◆IDWR 2020年第12週（第12号）（2020年4月3日）

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は2週連続で減少した

<IDWR 感染症発生動向調査週報>

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr-dl/2020.html>

■海外の感染症発生状況

◆厚生労働省検疫所（FORTH）：海外の感染症情報

（2020年3月20日～2020年4月3日掲載）

2020年3月26日 全世界に対する危険情報の発出（新型コロナウイルスの感染拡大を受けての出国制限措置や航空便の運休による出国困難）

<https://www.forth.go.jp/topics/202003261440.html>

2020年3月24日 欧州各国に対する感染症危険情報の発出（一部の国のレベル引き上げ）

<https://www.forth.go.jp/topics/202003241446.html>

2020年3月22日 イランに対する感染症危険情報の発出（一部地域のレベル引き上げ）－海外安全情報

<https://www.forth.go.jp/topics/202003241537.html>

2020年3月22日 米国に対する感染症危険情報の発出（レベル引き上げ）

<https://www.forth.go.jp/topics/202003221531.html>

リンク集

◆感染症情報のリンク集

国立感染症研究所：<http://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases.html>

厚生労働省検疫所（FORTH）：<http://www.forth.go.jp/index.html>

エイズ予防情報ネット（API-Net）：<http://api-net.jfap.or.jp/>

CDC：<http://www.cdc.gov/>

ECDC：<http://www.ecdc.europa.eu/en/Pages/home.aspx>

China CDC：<http://www.chinacdc.cn/>

国立医薬品食品衛生研究所：<http://www.nihs.go.jp/kanren/shokuhin.html>

新型コロナウイルス感染症について：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

◆感染症に関するQ&Aのリンク集

<新型コロナウイルスに関するQ&A>

一般の方向け：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00001.html

医療機関・検査機関向け：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00004.html

企業（労務）の方向け：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00007.html

労働者の方向け：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_00018.html

関連業種の方向け：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19_qa_kanrenkigyuu.html

水際対策の抜本的強化に関するQ&A：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/covid19_qa_kanrenkigyuu_00001.html

学校再開に関するQ&A（文部科学省HP）：https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00003.html

<ジカウイルス感染症>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109899.html>

<中東呼吸器症候群（MERS）>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/mers.html>

<腸管出血性大腸菌感染症>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

<マイコプラズマ肺炎>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou30/index.html>

<RS ウイルス感染症>

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

<感染性胃腸炎（ノロウイルス）>

<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

<感染性胃腸炎（ロタウイルス）>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/Rotavirus/index.html>

<手足口病>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>

<咽頭結膜熱>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou17/01.html>

<重症熱性血小板減少症候群（SFTS）>

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html

<インフルエンザ>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

<鳥インフルエンザ>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000144461.html>

<鳥インフルエンザ（H5N1）>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000144523.html>

<鳥インフルエンザ（H7N9）>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000144470.html>

<鳥インフルエンザ（動画）>

<http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg9687.html>

<狂犬病>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/07.html>

<結核と BCG ワクチン>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/bcg/

<オーラルセックス（口腔性交）による性感染症>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda.html

<ポリオとポリオワクチン>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/polio/qa.html>

<日本脳炎>

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou21/dl/nouen_qa.pdf

<子宮頸がん予防ワクチン>

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/qa_shikyukeigan_vaccine.html

<子宮頸がん予防ワクチン接種の「積極的な接種勧奨の差し控え」>

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou28/qa_hpv.html

<風しん>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

<麻疹>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

<麻疹 (English) >

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles_eng/index.html

<水痘>

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/varicella/index.html

<肺炎球菌感染症 (高齢者) >

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/haienkyukin/index_1.html

<エボラ出血熱>

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/ebola_qa.html

<デング熱>

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever_qa.html

<梅毒>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

◆広報・啓発ツールのリンク集

<新型コロナウイルス感染症について> (New)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

<咳エチケット>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>

<薬剤耐性 (AMR) 対策>

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000120172.html>

<インフルエンザ予防対策>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/keihatu.html>

<麻疹>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/dl/leaf_z.pdf

<風しん>

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/dl/poster09.pdf

<風しんの追加的対策：政府広報オンライン「昭和37年度～53年度生まれの男性の皆さんへ 風しんの予防接種にご協力ください！」>

」>

<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201406/3.html>

<風しんの追加的対策：政府インターネットテレビ「昭和37～53年度生まれの男性の方へ ～生まれてくる赤ちゃんを守る“風しん対策”」>

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg19934.html>

<風しんの追加的対策：政府インターネットテレビ「ピックアップ！～赤ちゃんを守る！～男性も風しん対策を」>

<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg20050.html>

<啓発ツール：定期の予防接種（主に小学生までのお子さんが受けた方がよい予防接種）>

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/keihatsu_tool/index.html

<予防接種スケジュール（国立感染症研究所）>

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/component/content/article/320-infectious-diseases/vaccine/2525-v-schedule.html>

<予防接種後健康被害救済制度>

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou20/kenkouhigai_kyusai/dl/leaflet_h241119.pdf

<性感染症>

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/seikansenshou/index.html

<動物由来感染症>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou18/>

<狂犬病>

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/>



『感染症エクスプレス@厚労省』の登録・変更は、ご自身のアドレスでのみ可能です。

配信先の変更は、不要になったアドレスを配信停止いただき、新しいアドレスで新規に登録をお願いします。
※携帯電話等のキャリアドメインは登録できません。

●新規登録・配信停止・配信先変更

<http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/>

●バックナンバー

<http://kansenshomerumaga.mhlw.go.jp/backnumber/>

●お問い合わせ（登録の変更は上記にて承ります）

<https://mhlw.asp.3mail.jp/inquiry/>

●内容に関するご意見

kansenshomail@mhlw.go.jp